

- スпамメール処理に「ドメイン隔離フォルダに残す」を追加

- ・ドメインの統一フォルダに隔離メールを保存します。ドメイン管理者のみ隔離メールボックスにアクセスできます。

- ※本機能を利用した場合、ユーザに隔離通知メールは配信されません。

- ・設定画面

 **MailGates**

スパムメール管理 > メール処理 > スпамメール

ログ閲覧 ▶

メール統計 ▶

ユーザ・グループ設定 ▶

スパムメール管理 ▼

許可・拒否設定

メール処理

フィルタリング設定

審査ルール設定 ▶

誤送信防止 ▶

システム管理 ▶

暗号化 ▶

スパムメール

通知メール設定

スパムメール処理: (システムデフォルト値: 個人隔離フォルダに残すMailGates)

☐ システムデフォルト値

☐ 削除

☐ メールヘッダーを変更して通過させる: :
(メールヘッダーの変更には \$SCORE を使用することができます。
例えば、疑わしいスコアを出力したい場合 例: X-spam-score:\$SCORE)

☐ メール件名を変更して通過させる:
(メール件名の変更には \$TITLE を使用することができます。
例えば、元のメール件名を残したい場合 例: [SPAM] \$TITLE)

☐ 個人隔離フォルダに残す

☒ ドメイン隔離フォルダに残す ※※

保留期間: (システムデフォルト値: 14 日)

保存

リセット

※「参照」を押下することにより隔離メールボックスにアクセスできます。

MailGates

スパムメール管理 > メール処理 > スパムメール

ログ閲覧

メール統計

ユーザ・グループ設定

スパムメール管理

許可・拒否設定

メール処理

フィルタリング設定

審査ルール設定

誤送信防止

システム管理

暗号化

スパムメール

通知メール設定

スパムメール処理: (システムデフォルト値: 個人隔離フォルダに残すMailGates)

☐ システムデフォルト値

☐ 削除

☐ メールヘッダーを変更して通過させる::

(メールヘッダーの変更には \$SCORE を使用することができます。
例えば、疑わしいスコアを出力したい場合 例: X-spam-score:\$SCORE)

☐ メール件名を変更して通過させる:

(メール件名の変更には \$TITLE を使用することができます。
例えば、元のメール件名を残したい場合 例: [SPAM] \$TITLE)

☐ 個人隔離フォルダに残す

☒ ドメイン隔離フォルダに残す

参照

保留期間: (システムデフォルト値: 1 日)

保存

リセット

トータル: 2, ページ数: 1

送信

削除

誤判定

ドメイン許可

件名

検索

		件名	送信者	日付	サイズ	フィルタ結果
	<input type="checkbox"/>	SPAM-1	sample	19/04/18 14:08	1K	
	<input type="checkbox"/>	SPAM-1	sample	19/04/18 14:07	1K	

送信

削除

誤判定

ドメイン許可

トータル: 2, ページ数: 1

1

全て削除